

特集 未来を変える ごみの「分別」 ごみの分け方・出し方 見直してみませんか？

新型コロナウイルス感染症の影響で、ライフスタイルや人とのつながり方など、多くのことが変化しました。ステイホームや在宅勤務、オンライン授業など「おうち時間」をお過ごしの方も多いのではないのでしょうか？

一方で、家庭から出されるごみの排出量もそれに伴い増加しています。例えば、伊奈町での令和2年度におけるごみの収集量は**13,861トン**で、平成31（令和元）年度の13,689トンと比較して**172トン（1.3%）の増加**となっています。

そこで今問題となっていることが、家庭ごみの「分け方・出し方」についてです。家庭ごみの誤った分別などが原因で発火事故が発生したり、ごみの分け方・出し方次第では感染症の拡大に繋がる恐れがあるなど、さまざまな危険が潜^{ひそ}んでいます。

このような状況だからこそ、改めてごみの正しい分け方・出し方を一緒に見直してみませんか？

「ごみ」とSDGs※

現在、SDGsの実現に向けて、政府や自治体、多くの企業や団体に取り組んでいます。伊奈町全体としても、私たち一人ひとりが正しいごみの分け方・出し方を学び、行動を積み重ねることで、この地球全体の目標達成に貢献することができます。

～地球のために、私たちができること～

「プラスチックごみの削減」



プラスチックごみを正しく分けて捨てることで、風雨などで海や川へ流れ込むプラスチックごみの減量化につながります。これにより、海洋生態系の乱れや水環境の悪化を防ぎ、私たち人類や生き物の健康被害を防ぐこともできます。

「食品ロスの削減」



「買い物をするときは食材を買いすぎない」「飲食店では注文のし過ぎを避けて食べ残しは持ち帰る」「料理をする際は食べられる分だけ作る」などを行うことで、食品ロスを削減できます。これにより、地球温暖化の進行や環境汚染を防ぐことができます。

ごみは、正しく分別すれば「新たな価値」として、普段誰もが使用している日用品に生まれ変わります。地球のために、私たちの身近でできることはとてもたくさんあります。誰もが快適に過ごせる社会の実現に向け、一人ひとりが、意識して行動しましょう。

※SDGsとは…「Sustainable Development Goals」の略で、持続可能な開発目標のこと。地球上の「誰一人取り残さない」ことをテーマに2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す地球全体の目標です。環境や福祉、人権などの分野があり、17のゴールが設定されています。

マスクは正しく捨てましょう！

近ごろ、マスクを捨てる際に分別がされていないケースが後を絶ちません。収集や分別を行う作業員の新型コロナウイルス感染防止の観点からも、正しい分別にご協力をお願いします。

また、マスクやティッシュ等のごみを捨てる際は以下の捨て方に沿って、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかり縛って封をする」「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

マスクの捨て方チェックポイント！

- ☑ 不織布マスク、布マスク等に限らずマスクは「可燃ごみ」の日に捨てましょう。
- ☑ ごみ袋がいっぱいになる前に、早めに袋の口を結びましょう。
- ☑ マスク等のごみが直接触れることがないよう、しっかり縛りましょう。
- ☑ ごみを捨てた後は、石けんを使って手をよく洗いましょう。

